BUFFALO 35011915 ver.01 1-01 C10-017

TeraStation WSS WS-WVLシリーズ ※本書では、TeraStation WSSをTeraStationと表記しています。

導入マニュアル - はじめにお読みください -

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

梱包物の確認

不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
確認した項目には✓を付けてください。なお、製品の形状はイラストと異なる場合があります。

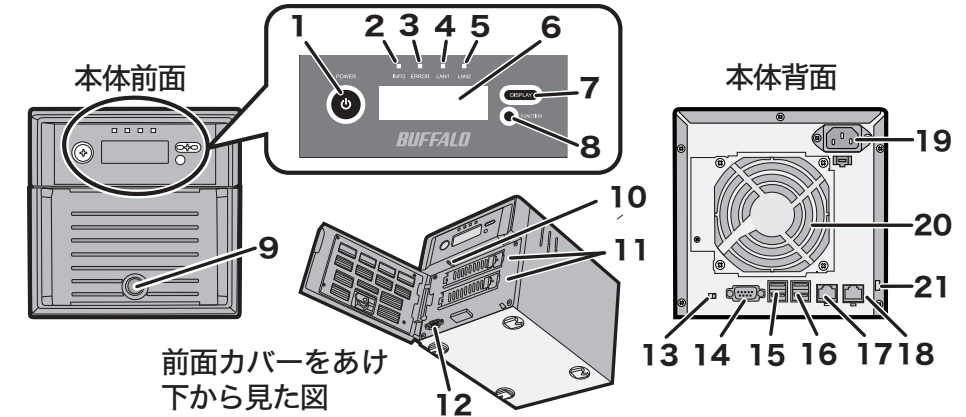
- □ TeraStation本体............. 1台
- □ ACケーブル......................... 1本
- □ 3極-2極変換アダプター..... 1個
- □ 前面カバー開閉用鍵............ 2個
- □ ケーブル抜け防止バンド..... 1個
- □ LANケーブル.................................. 1本
- □ USBメモリー.................................. 1個
- ☑ 導入マニュアル(本紙)........................ 1枚
- □ ハードディスク交換手順........................ 1枚
- □ 保証書.. 1枚

※付属のACケーブルは3極です。ACコンセントが2極の場合にお使いください。3極-2極変換アダプターのアース線は電源プラグをつなぐ前に接続し、外すときは電源プラグを抜いてから外してください。また、アース線がコンセントや他の電極に接触しないよう確実にアース口に接続してください。

※前面カバー開閉用鍵は紛失しないよう大切に保管してください。

※保証書は本製品の修理をご依頼頂く場合に必要となりますので、大切に保管してください。保証書には、シリアルNoが記載されています。

※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

各部の名称

1 電源ボタン
電源ON：電源ボタンを押します。電源ONのとき、電源ボタンは緑色に点灯します。
※電源ボタンでTeraStationの電源をOFFにすることはできません。電源をOFFにしたいときは、下記「TeraStationの電源をOFFにするときは」をご参照ください。

2 INFOランプ
本製品では使用しません。

3 ERRORランプ
エラーが発生したとき赤色に点灯します。エラーの内容については、液晶ディスプレイの表示をご確認ください。

4 LAN1ランプ
LAN1ポートがネットワークに接続されているときに、緑色に点灯します(LANポート1横のランプも同様に点灯します)。

5 LAN2ランプ
LAN2ポートがネットワークに接続されているときに、緑色に点灯します(LANポート2横のランプも同様に点灯します)。

6 液晶ディスプレイ
TeraStationの状態などを表示します。

7 ディスプレイ切替スイッチ
液晶ディスプレイの表示を切り替えます。

8 ファンクションボタン
リカバリーを行う際に使用します。

9 ハードディスク取替用キーシリンダー
付属の鍵で前面をあけることができます。ハードディスクを交換するとき、およびリセットスイッチを押すときに使用します。
※前面のハードディスク取替用キーシリンダー、鍵は誤操作防止用です。

10 リセットスイッチ
強制的にTeraStationを再起動します。

11 ステータスランプ1～2
各ハードディスクにアクセス時は1～2の各ランプが緑色に点灯します。ハードディスクに異常が発生したときは、異常が発生した番号のランプが赤色に点灯/点滅します。

12 ディスプレイポート

13 USB/HDDブート切替スイッチ
TeraStationに搭載されているWindows Storage Serverをリカバリーするときに使用します。

14 UPSポート(シリアルポート)
シリアル接続のUPS(無停電電源装置)を接続できます。

15 USB 3.0ポート×2

16 USB 2.0ポート×2

17 LANポート1
付属のLANケーブルを接続します。

18 LANポート2
バックアップ用または別ネットワークに接続するときに使用します。

19 電源コネクター
付属のACケーブルを接続します。

> **電源コネクターには、使用許諾シールが貼付されています。取り外す前に、付属のUSBメモリーの[ms-licence]フォルダーに収録されているマイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項を必ずお読みください。シールをはがすと同意したとみなされます。**

20 ファン
ファンを塞ぐような設置はしないでください。

21 盗難防止用セキュリティースロット
市販のワイヤーロックなどで固定することができます。

※ディスプレイ切替スイッチや液晶ディスプレイの表示については、画面で見るマニュアルをご参照ください。

仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

項目		内容
搭載システム		Microsoft Windows Storage Server 2008 R2 Workgroup **※付属のUSBメモリーの[ms-licence]フォルダーには、マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項が収録されています。必ずお読みください。**
インターフェース(LANポート)		インターフェース：IEEE802.3ab準拠(1000BASE-T)、IEEE802.3u準拠(100BASE-TX)、IEEE802.3準拠(10BASE-T) 伝送速度：1000 Mbps全二重(自動認識)、100 Mbps全二重/半二重(自動認識)、10 Mbps全二重/半二重(自動認識) ポート数：2ポート（AUTO-MDIX対応） コネクター形状：RJ-45型 8極
インターフェース(USBポート)		USB 2.0 ポート(シリーズA) × 2 USB 3.0 ポート(シリーズA) × 2
インターフェース(UPSポート)		インターフェース：RS-232C(D-SUB 9ピン(オス))×1 対応UPS：オムロン社製UPS、APC社製UPS ※対応UPS製品名は弊社ホームページに記載しています。また、オムロン社ホームページの各製品ページにも記載があります。UPSを購入前にあらかじめご確認ください。
内蔵ハードディスク		ディスクの構成：出荷時にCドライブとDドライブはミラーモード(ディスク1、2を使用)に設定済み ※TeraStationのハードディスクが故障した場合は、別売の弊社製交換用ハードディスクOP-HDシリーズ(故障したハードディスクと同容量)に交換ください。詳しくは弊社ホームページ(buffalo.jp)をご参照ください。
電源 / 消費電力		AC 100 V 50/60 Hz / 約 47 W(最大)
外形寸法 / 重量		W170 × H170 × D230 mm (突起部を除く) / 約 4.5 kg
動作環境		温度 5～35 ℃、湿度 20～80 %(結露なきこと)
対応機種	対応パソコン	DOS/V(OADG仕様)対応パソコン、Apple Macシリーズ ※LANインターフェースを搭載していること。 ※パソコンとはLAN接続になり、USB接続はできません。
	対応OS	Windows 7(注) / Vista(注) / XP(注) / 2000 Windows Media Center Edition 2005 / 2004 Windows Server 2008(注) / Server 2003(注) / 2000 Server MacOS X 10.3.9以降 (注)32 bit/64 bitに対応しています。

TeraStationの電源をOFFにするときは

1. リモートデスクトップの画面内で、Windows Storage Serverの[スタート]をクリックして表示されたメニューの[ログオフ]横にある ▶ をクリックします。
2. [シャットダウン]をクリックします。
3. オプションを選択し、[OK]をクリックします(電源スイッチが緑色点灯から消灯に変わります)。

上記手順を守らずに、電源がONの状態のまま、ACケーブルを取り外すとTeraStationが故障する恐れがあります。

RAIDの設定について

出荷時設定では、CドライブとDドライブは**ミラーボリューム**(ディスク1、2を使用)に設定されています。設定を変更したいときは、画面で見るマニュアルをご参照ください。
TeraStationでは設定画面より次のモードを設定することができます。

ミラーボリューム　内蔵されているハードディスクのうち2台のハードディスクの未割り当て領域を1つのアレイとして使用します。2台のハードディスクをペアにして、それぞれのハードディスクに同じデータを書き込みます。ペアを構成する一方のハードディスクが破損してもハードディスクを交換すればデータを復旧できます(両方破損した場合、復旧することはできません)。

ストライプボリューム　内蔵されている2台のハードディスクの未割り当て領域を1つのアレイとして使用します。分散して書き込みを行うのでアクセス速度が少し速くなります。ハードディスクが破損した場合、データを復旧することはできません。

スパンボリューム　スパンボリュームとは、複数のディスク上の未割り当て領域を結合して１つの論理ボリュームを生成したものです。これにより、複数のディスクを持つシステム全ての領域およびドライブ文字をより有効に使用できるようになります。ハードディスクが破損した場合、データを復旧することはできません。

シンプルボリューム　内蔵されている各ハードディスクを個々に使用したいときに選択ください。ハードディスクが破損した場合、データを復旧することはできません。

※RAIDモードを変更すると変更するボリューム内のデータは、全て削除されます。必要なデータが入っているときは、データをバックアップしてからRAIDモードを変更してください。

TeraStationのデータのバックアップをおすすめします

TeraStationを使用していると、突然の事故、ハードディスクの故障や誤操作で大切なデータを失ってしまう可能性があります。そのようなときに、データを元に戻したり、被害を最小限に抑えたりするために、データのバックアップをとっておくことが大切です。
バックアップ先には弊社製大容量ハードディスク(TeraStation/LinkStation、およびUSB接続外付けハードディスク)をお使いください。

次ページへつづく

セットアップ手順

TeraStationを使用するには、まず付属のUSBメモリーに収録されているTeraNavigatorにしたがって、TeraStationの接続・NAS Navigator2のインストールを行います。

> Mac OSをお使いの場合、あらかじめMicrosoft社ホームページ http://www.microsoft.com/japan/mac/products/remote-desktop/default.mspx から**「Remote Desktop Connection Client for Mac 2**(Mac OS X 10.3.9をお使いの場合、バージョン1.0.3)**」**をダウンロードし、インストールしてください。インストールしないとリモートデスクトップで操作することができません（TeraStationの設定を変更することはできません）。

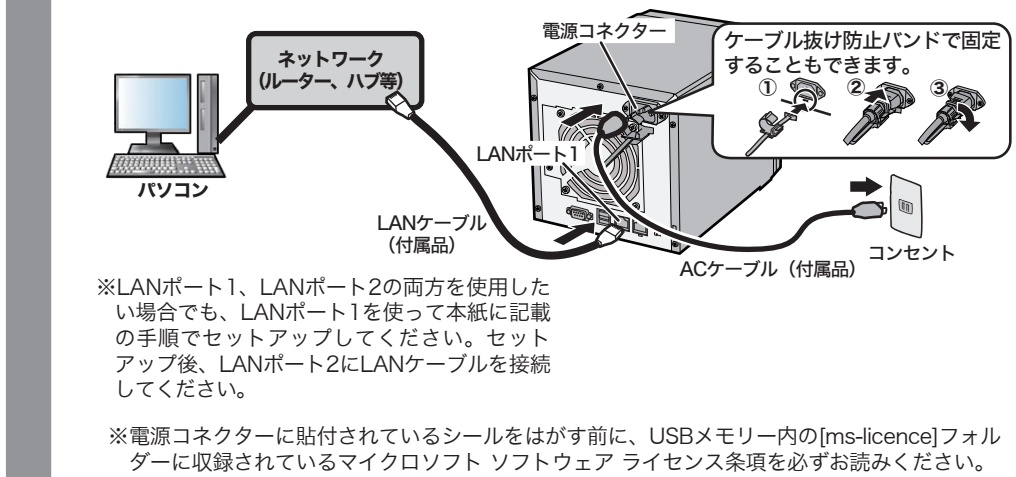
❶ 付属のUSBメモリーをパソコンのUSBポートに接続します。
※Windows 2000/2000 Serverをお使いの場合、USBメモリーの書き込み禁止を解除してからUSBメモリーを接続してください(USBメモリー側面のスライドスイッチをUSB端子方向にスライドさせてください)。

❷ TeraNavigatorが起動します。
※「Windowsが実行する動作を選んでください。」と表示されたとき、または自動再生の画面が表示されたときは、[TeraNavigator for WS-VL]を選択してください。
※Windows 7をお使いの場合やTeraNavigatorが起動しない場合は、USBメモリー内[TeraNavi]フォルダーの中にあるTSNavi.exeアイコン をダブルクリックしてください。
※Windows 7では「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示されたら、[はい]をクリックしてください。Windows Vistaでは「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行]をクリックしてください。
※Mac OSでは、付属のUSBメモリー内のディスクイメージWSVL_SERIES-xxx.dmg(xxxは数字3桁)をダブルクリックしてマウントし、イメージ内の[TeraNavigator]をダブルクリックしてください。
※ウィルス対策ソフトウェアやOSのファイアウォール機能が有効に設定されている場合、本製品をセットアップする前に必ず無効にしてください。有効に設定されていると、本製品をセットアップできないことがあります。設定方法は、各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。セットアップ後に、ファイアウォール機能の設定を元に戻してください。

❸ TeraNavigator画面の[かんたんスタート]をクリックします。

❹ 以降は、画面の指示にしたがってTeraStationの接続、およびNAS Navigator2のインストールを行ってください。

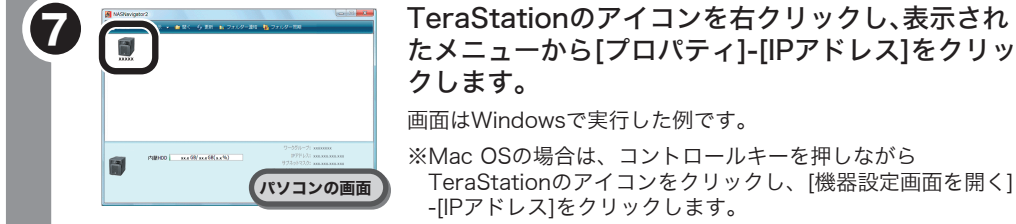
※LANポート1、LANポート2の両方を使用したい場合でも、LANポート1を使って本紙に記載の手順でセットアップしてください。セットアップ後、LANポート2にLANケーブルを接続してください。

※電源コネクターに貼付されているシールをはがす前に、USBメモリー内の[ms-licence]フォルダーに収録されているマイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項を必ずお読みください。

❺ 「NAS Navigator2のインストールが完了しました」と表示されたら、[完了]をクリックします。

❻ NAS Navigator2が自動的に起動します。
※後で起動する場合、Windows では、デスクトップの [BUFFALO NAS Navigator2] アイコンをダブルクリックします。Mac OS では、Dock 内の [NAS Navigator2] アイコンをクリックします。

❼

TeraStationのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから[プロパティ]-[IPアドレス]をクリックします。
画面はWindowsで実行した例です。
※Mac OSの場合は、コントロールキーを押しながらTeraStationのアイコンをクリックし、[機器設定画面を開く]-[IPアドレス]をクリックします。

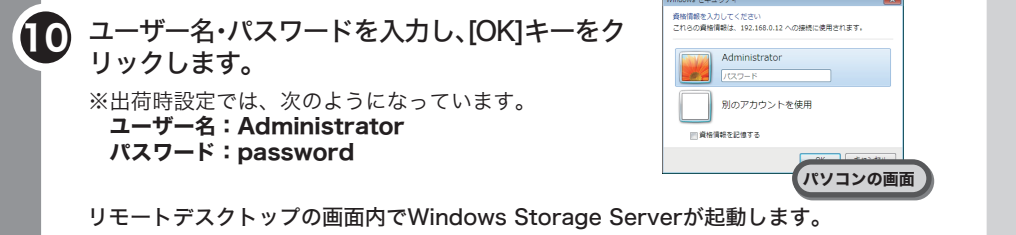
❽

1. IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力します。
画面はWindowsで実行した例です。
※設定が分からない方は、[IPアドレスを自動的に取得する]をクリックしてチェックマークを表示させてください。

2. [OK]をクリックします。
※ユーザー名と管理者パスワードの入力を求められたときは、TeraStationのパスワード(出荷時設定では、ユーザー名：**Administrator**、パスワード：**password** となっています)を入力してください。

❾

NAS Navigator2のメイン画面に表示されているTeraStationのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから[リモートデスクトップを開く]をクリックします。
※Mac OSの場合は、コントロールキーを押しながらTeraStationのアイコンをクリックし、[リモートデスクトップを開く]をクリックします。
※「このリモート接続の発行元を識別できません。接続しますか？」と表示されたときは、[接続]をクリックしてください。
※「接続先のコンピュータのIDを確認できません」と表示されたときは、[はい]または[続行]をクリックしてください。

❿ ユーザー名・パスワードを入力し、[OK]キーをクリックします。
※出荷時設定では、次のようになっています。
ユーザー名：Administrator
パスワード：password

リモートデスクトップの画面内でWindows Storage Serverが起動します。

⓫ Windows Storage Serverの更新プログラムをインストールします。
1. 「初期構成タスク」画面の[更新プログラムのダウンロードとインストール]をクリックします。
   TeraStationがインターネットに接続されている必要があります。
2. [更新プログラムの確認]をクリックします。
3. [更新プログラムのインストール]をクリックします。

以降は画面の指示にしたがってWindows更新プログラムをインストールします。

Windows Storage Serverに市販のウィルス対策ソフトウェアをインストールすることを強く推奨します。

⓬ 日付と時刻を合わせます。
1. 「初期構成タスク」画面の[タイムゾーンの設定]をクリックします。
2. [日付と時刻]→[日付と時刻の変更]の順にクリックします。
3. 日付と時刻に現在の日時を選択し、[OK]をクリックします。

⓭ 共有フォルダー(share)を作成します。
1. [スタート]-[すべてのプログラム]-[管理ツール]-[コンピューターの管理]の順にクリックします。
2. [共有フォルダー]をクリックします。
3. [共有]を右クリックし、表示されたメニューから[新しい共有]をクリックします。
4. [次へ]をクリックします。
5. [フォルダーパスに「D:¥Share」と入力し、[次へ]をクリックします。
6. [はい]をクリックします。
7. 共有名に「Share」と入力し、[次へ]をクリックします。
8. [アクセス許可をカスタマイズする]→[カスタマイズ]→[Everyone]→[変更(許可)]の順にクリックし、[変更(許可)]にチェックマークをつけます。
9. [セキュリティ]タブ→[編集]→[追加]の順にクリックします。
10. [選択するオブジェクト名を入力してください]に「Everyone」を入力し、[OK]をクリックします。
11. [Everyone]→[変更(許可)]の順にクリックし、[変更(許可)]にチェックマークをつけます。
12. [OK]→[OK]→[完了]の順にクリックします。
13. 「コンピューターの管理」画面の[ローカルユーザーとグループ]をクリックします。
14. [ユーザー]をダブルクリックします。
15. [Guest]をダブルクリックします。
16. [全般]タブ内の[アカウントを無効にする]のチェックマークをはずし、[OK]をクリックします。

⓮ TeraStationのパスワードを変更します。
1. [コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]→[個人用パスワードの変更]の順にクリックします。
2. [現在のパスワード]に「password」、[新しいパスワード]および[新しいパスワードの確認]に任意のパスワードを入力し、[パスワードの変更]をクリックします。

⓯

TeraStationのアイコンをダブルクリックします。
画面はWindowsで実行した例です。

⓰ TeraStation内の共有フォルダーが表示されます。
※Mac OSでは、デスクトップ画面にTeraStationがドライブアイコンとしてマウントされるか、Finderのサイドバーに表示されます。

以上でセットアップは完了です。
TeraStationの共有フォルダーは、他のハードディスクと同じようにファイルの保存先としてご使用することができます。

> Windows Storage ServerのLAN(ネットワークデバイス)の設定は、絶対に無効化しないでください。LANの無効化を行ってしまうと、TeraStationにアクセスできなくなります。

2台目以降のパソコンからTeraStationの共有フォルダーを開くには

2台目以降のパソコンにNAS Navigator2をインストールします(付属のUSBメモリー内のTeraNavigatorトップ画面から[NAS Navigator2のインストール]を選択することでインストールできます)。
上記手順15、16と同様の操作で共有フォルダーを開いてください。

次ページへつづく

前ページからのつづき

Windows Storage Serverの画面表示方法

Windows Storage Serverの画面は、次の手順で表示することができます。

1.NAS Navigator2を起動します。

※Windowsでは、デスクトップの[BUFFALO NAS Navigator2]アイコンをダブルクリックします。
※Mac OSでは、Dock内の[NAS Navigator2]アイコンをクリックします。

2.TeraStationのアイコンを右クリック(Mac OSでは、コントロールキーを押しながらクリック)し、表示されたメニューから[リモートデスクトップを開く]を選択します。

※LinkStation、TeraStationが合計2台以上同一ネットワークに接続されているときは、アイコンが複数表示されます。設定画面を表示したいTeraStationを選択してください。
※TeraStationのアイコンを選択すると、IPアドレスなどTeraStationの個別情報が確認できます。
※「接続先のコンピュータのIDを確認できません」と表示されたときは、[はい]または[続行]をクリックしてください。

パソコンの画面

3.ユーザー名、パスワードを入力し、[OK]をクリックします。

※設定画面を表示するときは、次のユーザー名、パスワードを入力してください。

ユーザー名：Administrator
パスワード：password
ログイン後、セキュリティーのためパスワードは変更してください。

4.リモートデスクトップの画面内でWindows Storage Serverが起動します。

以上でWindows Storage Server画面の表示は完了です。

※Mac OSをお使いの場合、あらかじめMicrosoft社ホームページ http://www.microsoft.com/japan/mac/products/remote-desktop/default.mspx から**「Remote Desktop Connection Client for Mac 2**(Mac OS X 10.3.9をお使いの場合、バージョン1.0.3)**」**をダウンロードし、インストールしてください。インストールしないとリモートデスクトップで操作することができません（TeraStationの設定を変更することはできません）。

便利な機能の内容、設定方法については画面で見るマニュアルをお読みください。

画面で見るマニュアルの読みかた「TeraStation WSS 設定ガイド」

付属のUSBメモリーをパソコンのUSBポートに接続し、自動的に起動した画面(TeraNavigator)で、[マニュアルを読む]をクリックしてください。

TeraNavigatorトップ画面
※画面はWindowsの例です。

画面で見るマニュアルを読むには、インターネットを閲覧できる環境が必要です。

※Windowsでマニュアル(PDFファイル)を読むには、アドビ社のAdobe Readerが必要です。アドビ社のAdobe Readerは、アドビ社ホームページ(http://www.adobe.com/jp/)にて入手することができます。
※Mac OSでは、TeraNavigatorの画面は自動で表示されません。付属のUSBメモリー内のディスクイメージWSVL-xxx.dmg(xxxは数字3桁)をダブルクリックしてマウントし、イメージ内の[TeraNavigator]をダブルクリックしてください。
※Windows 7をお使いの場合やTeraNavigatorが起動しない場合は、USBメモリー内[TeraNavi]フォルダーの中にあるTSNavi.exeアイコンをダブルクリックしてください。
※「Windowsが実行する動作を選んでください。」と表示されたとき、または自動再生の画面が表示されたときは、[TeraNavigator for WS-VL]を選択してください。
※Windows 7では「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示されたら、[はい]をクリックしてください。Windows Vistaでは「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行]をクリックしてください。

困ったときは

■セットアップできないときは

NAS Navigator2で検索できない、リモートデスクトップ画面が表示できないときの代表的な現象と原因を以下に記載します。

原因1.ケーブル類が正しく接続されていない
物理的に接続されていない、または接触不良の可能性があります。ACケーブルとLANケーブルを接続し直し、パソコンおよびTeraStationを再起動してください。

原因2.ファイアウォール機能が有効となっている、常駐ソフトウェアがインストールされている
ファイアウォール機能を無効にする、またはファイアウォール機能を持ったソフトウェアをアンインストールして再度検索をお試しください。

原因3.無線、有線アダプターがそれぞれ有効になっている
TeraStationに接続するためのLANアダプター以外を無効にしてください。

原因4.LANケーブルの不良、または接続が不安定になっている
接続するハブのポートやLANケーブルを変更してお使いください。

原因5.お使いのLANボード/カード/アダプターが故障している
LANボード/カード/アダプターを変更してお使いください。

原因6.お使いのLANボードやハブの伝送モードが設定されていない
LANボードやハブ側で伝送モードを[10M 半二重]または[100M 半二重]に変更してください。LANボードやハブによっては、伝送モードが[Auto Negotiation]（自動認識）に設定されていると、ネットワークに正しく接続できないことがあります。

原因7.ネットワークブリッジが存在する
使用していないネットワークブリッジが構成されている場合は、削除してください。

原因8.異なるネットワークから検索を行っている
ネットワークセグメントを超えて検索を行うことはできません。検索するパソコンと同一のセグメントにTeraStationを接続してください。

原因9.TCP/IPが正しく動作していない
LANアダプターのドライバーを再インストールしてください。

原因10.MacでRemote Desktop Connection Client for Macをインストールしていない
Mac OSをお使いの場合、あらかじめMicrosoft社ホームページ
http://www.microsoft.com/japan/mac/products/remote-desktop/default.mspx
から「Remote Desktop Connection Client for Mac 2(Mac OS X 10.3.9をお使いの場合、バージョン1.0.3)」をダウンロードし、インストールしてください。インストールしないとリモートデスクトップで操作することができません（TeraStationの設定を変更することはできません）。

■TeraStationの共有フォルダーが突然開かなくなったときは

TeraStationの共有フォルダーをネットワークドライブとして割り当ててお使いの場合、IPアドレスやワークグループが変更されたときなど、突然TeraStationにアクセスできなくなってしまうことがあります。
このようなときは、おもて面に記載の手順にしたがって、付属のNAS Navigator2でTeraStationの共有フォルダーを開いてください。
※Mac OSでは、デスクトップ画面にTeraStationがドライブアイコンとしてマウントされるか、Finderのサイドバーに表示されます。

Windows Storage Serverのリカバリー方法

Windows Storage Serverが正常に動作しなくなったときは、付属のUSBメモリーでリカバリーを行ってください。

- **リカバリー処理を行うとドライブ1の保存データは消去されます。**
- **付属のUSBメモリーを他のTeraStationに接続しないでください(付属のUSBメモリーで行うリカバリーは本製品のみに対して行うものです)。**

リカバリーは、ドライブ1の領域を1度削除してから、30GB(ベーシックディスク/シンプル)の領域を確保しなおし、その領域にWindows Storage Serverのイメージを転送します。

※ドライブ1以外のハードディスクにシステム領域がある(またはミラー先がある)場合、必ずリカバリーを実行する前に、システム領域の削除(またはミラー先を解除し、ボリュームの削除)を行ってください。削除せずにリカバリーを実行すると、リカバリー後、Windows Storage Serverが起動しないことがあります。
起動しなくなってしまったときは、TeraStationの電源をOFFにし、ドライブ1(ディスク0)以外のハードディスクを全て取り外した状態で、もう一度下記リカバリー手順を実行してください。リカバリー後、取り外したハードディスクを接続してください(接続したハードディスクは[異形式]と表示されます)。 Windows Storage Serverの[ディスクの管理]上で[異形式]を右クリックし、[形式の異なるディスクのインポート]を選択し、さらにこの領域を右クリックし、[ボリュームの再アクティブ化]をクリックしてRAIDを再構築してください。

1.本紙おもて面「TeraStationの電源をOFFにするには」の手順でTeraStationの電源をOFFにします。

2.ドライブ1以外のハードディスクを全て取り外してください。取り外し手順は別紙「ハードディスク交換手順」をご参照ください。

3.USB2.0ポートに付属のUSBメモリーを接続します。

4.USB/HDDブート切替スイッチを[USB]にして、電源ボタンを押します。
リカバリー処理が実行されます。

USB2.0ポート
BOOT
USB◄►HDD
USB/HDDブート切替スイッチ

5.リカバリーが完了すると自動的にシャットダウンします。

6.USBメモリーを取り外し、USB/HDDブート切替スイッチを[HDD]にして電源ボタンを押します。Windows Storage Serverの初期セットアップが完了すると自動的に再起動します。
TeraStation内のWindows Storage Serverが起動します。
※リカバリー中は、電源ボタンが緑色に点滅します。また液晶ディスプレイには、「TeraStation Booting System...」と表示されます。

電源ボタン
ファンクションボタン

出荷時の設定でTeraStationをお使いの場合、リカバリー処理が完了するとTeraStationは以下の状態になっています。

- **ドライブ1**
  30GB(ベーシックディスク/シンプル）残り容量は未割り当て領域。
- **ドライブ2～4**
  中のデータを見ることはできません(Windows Storage Serverの[ディスクの管理]で異形式と表示されている)。
  ※Windows Storage Serverの[ディスクの管理]上で[異形式]と表示された領域を右クリックし、表示されたメニューから[形式の異なるディスクのインポート]を選択すると中のデータを読むことができるようになります。この領域を右クリックし、表示されたメニューから[ボリュームの再アクティブ化]をクリックしRAIDを再構築してください。
  ※ドライブ1を使ってRAIDを構成するには、[ベーシックディスク]から[ダイナミックディスク]に変換する必要があります。Windows Storage Serverの[ディスクの管理]上でベーシックディスクを右クリックし、表示されたメニューから[ダイナミックディスクに変換]を選択することで変換することができます。

以上でWindows Storage Serverのリカバリーは完了です。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味　△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。(例：感電注意)
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

強制：本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告や注意指示に従ってください。

分解禁止：本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

禁止：AC100V(50/60 Hz)以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。
海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強制：電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

禁止：電源ケーブル(またはACアダプター)を傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。
火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。
- 設置時に、電源ケーブル(ACアダプター)を壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
- 電源ケーブル(ACアダプター)を抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源ケーブル(ACアダプター)を接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブル(ACアダプター)が傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強制：電気製品の内部やケーブル、コネクター類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。
さわってけがをする危険があります。

強制：小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強制：濡れた手で本製品に触れないでください。
電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く：煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止：風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。
火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

電源プラグを抜く：本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く：本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止：電源ケーブル(またはACアダプター)、信号ケーブルは必ず本製品付属のものをお使いください。
本製品付属以外の電源ケーブル(内部接続用を含む)、ACアダプター、信号ケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。

強制：静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させる恐れがあります。

ハードディスクの破棄・譲渡・交換・修理時の注意
「削除」や「フォーマット」したハードディスク上のデータは、完全には消去されていません。お客様が、廃棄・譲渡・交換・修理等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。
ソフトウェアを削除することなくハードディスクやパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約違反になることがありますので、ご注意ください。万一、 お客様の個人データが漏洩しトラブルが発生したとしましても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
以下のような市販のソフトウェアを用いてデータを完全に消去(本製品から取り外したハードディスクをパソコンに接続して実行ください)するか、専門業者に完全消去作業を依頼することをおすすめします。
Acronis DriveCleanser(Acronis社製　販売会社ラネクシー）　内蔵・外付けハードディスク用
詳しくは、http://buffalo.jp/support_s/hddata.html をご覧ください。
※ソフトウェアを削除することなくハードディスクやパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約違反になることがありますので、ご注意ください。

本製品について
この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A
万一、障害が発生したときは次の対策を行ってください。
・本製品とテレビやラジオの距離を離してみる。
・本製品とテレビやラジオの向きを変えてみる。

⚠ 注意

強制：パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

禁止：次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。
- 強い磁界、静電気が発生するところ
- 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
- ほこりの多いところ　→故障の原因となります。
- 振動が発生するところ　→けが、故障、破損の原因となります。
- 平らでないところ　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 直射日光が当たるところ　→故障や変形の原因となります。
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ→故障や変形の原因となります。
- 漏電、漏水の危険があるところ　→故障や感電の原因となります。

強制：本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータを他のメディアにバックアップしてください。
誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。
バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制：ハードディスク内のデータは、必ず他のメディアにバックアップしてください。
とくに、修復、再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前、更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。次のような場合に、データが消失、破損する恐れがあります。
・誤った使い方をしたとき
・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
・故障、修理などのとき
・天災による被害を受けたとき
上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制：各接続コネクターのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクターには手を触れないでください。
故障の原因となります。

禁止：本製品の上に物を置かないでください。
傷がついたり、故障の原因となります。

禁止：シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。
本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

禁止：本製品へのアクセス中は、本製品から電源ケーブル(またはACアダプター)を抜いたり、電源スイッチをOFFにしないでください。
データが消失、破損する恐れがあります。

強制：本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

Webで解決 バッファローホームページ(buffalo.jp)トップの検索ウィンドウに半角で「**8006**」と入力し、検索ボタンをクリックすると、よくある質問を表示します。困ったときにご参照ください。
8006　検索

「設定がうまくいかない」、「故障かな？」と思ったら

サポートセンターのご案内

本製品に関するお問合せはサポートセンターで受け付けています。

● お問合せの際は、まず、弊社サポートページをご確認ください。
お客様からお寄せいただいたお問合せを元にした、ピックアップ Q&A やよくある質問をご紹介しております。機種や症状別に参照することも可能です。ぜひご覧ください。
ハローバッファロー **86886.jp** (http://www 不要)　86886.jp 検索

● **インターネット（E メール）：** ※お問合せフォームからご質問いただけます。
個人のお客様　ハローバッファロー **86886.jp/mail/** (http://www 不要)
法人のお客様　ハローバッファロー **86886.jp/hojin/** (http://www 不要)

● **電話：** お問合せの際には、あらかじめ下記の項目をご確認ください。よりスムーズに回答することが可能です。1, ご使用の弊社製品名　2, パソコンの型番　3,OS のバージョン　4, トラブルの内容をお知らせください。
受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。
詳細は弊社ホームページ（86886.jp）をご覧ください。

個人のお客様窓口 **050−3163−1825**
9:30～19:00 (日曜日、夏期休暇、年末年始、法定点検日を除く)

法人のお客様窓口 **050−3163−2000**
9:30～12:00　13:00～17:00 (土日祝日、夏期休暇、年末年始、法定点検日を除く)

修理のご案内

万が一、製品が故障した場合は、下記のサイトより「インターネット修理予約システムで申込む」をご利用いただき、商品を弊社修理センターまでご送付ください。事前に修理を予約いただくことで、修理期間の短縮や修理状況の確認を行うことが可能です。
ハローバッファロー **86886.jp/shuri/** (http://www 不要)
携帯電話で修理品の送付先を確認することができます。
右のバーコードを携帯電話で読み取ってください。

ユーザー登録のご案内・添付品の販売（備品販売窓口）

ユーザー登録　ハローバッファロー **86886.jp/user/** (http://www 不要)
ダウンロードの代行サービス（有料）　ハローバッファロー **86886.jp/bihin/** (http://www 不要)
AC アダプター、ケーブル、その他付属品
http://www.buffalo-direct.com　バッファローダイレクト 検索

コミュニティサイト

●お客様サポートホームページ上において、パソコンや周辺機器の疑問・質問を書き込み、知っている人が答えて解決するコミュニティサイト『ZQwoonetSAK2（サクサク)』をご用意させていただいております。ぜひご利用ください。
http://www.zqwoo.jp/sak?foo=bar　SAK2 検索

※We provide technical and customer support only to Japanese OS.
We provide technical and customer support only in Japanese language.
We provide technical and customer support only for use in Japan.
弊社へご提供の個人情報は次の目的のみに使用し、お客様の同意なく第三者への開示は致しません。
・お問合せに関する連絡・製品向上の為のアンケート（サポートセンター）・添付品の販売業務（備品販売窓口）
・製品返送/詳細症状の確認/見積確認/品質向上の為の返送後の動作状況確認（修理センター）

TeraStation WSS 導入マニュアル
2011年4月6日　初版発行　発行　株式会社バッファロー